



《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
① 庁舎建設事業	本體工事及び駐車場工区造成工事の着工、外構詳細設計を行う。	工事委託等の件数	件	2	3	3	6
②							
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
			H23実績	H24実績	H25実績	
1 庁舎建設事業の進捗率	出来高事業費/総事業費	%	5	15	48	100
			5	16	46	
2						

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定)	実施主体の妥当性 【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	目標値については、駐車場工区造成の工事内容変更(路床工と植栽工をH26年度の外構工事に合わせて施工への繰越)によるものであり、H26年度の目標達成には影響はない。
	目的の妥当性 【21】	税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。	
	廃止・休止の影響 【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	
有効性 (判定)                     B	目標の達成度 【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	
	成果向上の余地 【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	
	上位施策への貢献度 【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	
効率性 (判定)                     A	コスト低減の余地 【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	
	民間の活用の余地 【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	
	執行方法改善の余地 【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	
	事業統合の余地 【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	
公平性	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。		

《今後の方向性と改善》

今後の方向性 【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	平成26年度をもって終了予定
昨年からの見直し・改善状況 【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【33】	契約事務及び工事の進捗も、平成26年末の新庁舎完成に向けて、順調に進めている。	評価責任者 仲山 裕貴
----------------------	---	----------------